

福祉体験

2月7日（月）ゆうゆうハウスの方にお世話になり、車いす体験をしました。「動かす時は声をかけないと、とても怖い。」「ちょっとした段差でも高く感じて、苦労してしまう。」など実際に車いすに乗ってみるといろいろなことに気づきました。

**職場訪問**

3月1日（火）職場訪問を実施しました。今回は「大茅スキー場」「元湯」「旬の里」「こども図書館」「西栗倉幼稚園」に訪問させていただきました。

訪問先では、「仕事の内容」「仕事をしていて良かったことやたいへんな点」などを聞かせていただき、たいへん勉強になりました。2年生での職場体験に生かしていきたいと思います。



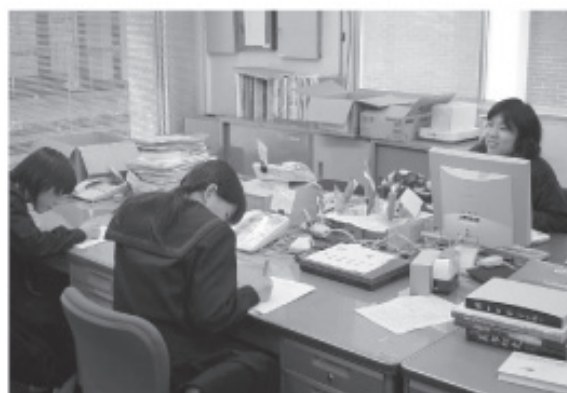
▲大茅スキー場



▲西栗倉幼稚園



▲元湯



▲子ども図書館

西栗倉小学校だより

二年生は二月八日にゆうゆうハウスを訪問し、お年寄りの方と交流しました。かきこじょうの劇を見てもらったり、肩もみをしてあげたりする中で、相手に何かをしてあげる喜びを感じ、子ども達も笑顔をもたって帰りました。児童の感想を紹介します。

◆ゆうゆうハウスに行って、げきをしたり歌を歌ったりしました。おじいさやおばあさんはよろこんでいました。なっている人もいました。歌のときにもうないでいる人がいて、まだまだこれからなのだと思います。歌はしっぱいしたところもあったけどげきはうまくできました。

プレゼントをわたしたかたのたきをする、おじいさん、おばあさんがよろこんでくれました。たいへんだったけど、よろこんでくれてうれしかったです。

◆わたしが一番心にのこったのはかたもみです。プレゼントをわたしたかたもみをしてあげると、「ありがとう」とか「この子のかたもみいいわあ、気持ちいいわあ。」とか言ってくれました。



かたもみがおわるとあく手してくれました。七人ぐらいいにしてあげました。一番うれしかったのは、おじいさんやおばあさんがよろこんでくれたことです。またゆうゆうハウスへ行って、おじいさやおばあさんをよろこばせてあげたいです。

西栗倉幼稚園だより

卒園おめでとうございます。ひと雨ごとに春らしくなり、ひと雨ごとに暖かさを増し、花の便りも届き始めました。庭の木々も新芽の準備を始めるなか、子どもたちの新たな旅立ちです。

3月18日、平成16年度第42回卒園式を行いました。7名の園児たちが卒園いたしました。卒園にあたり子供たちが将来の夢、憧れの職業を教えてくださいました。



河野あやね
「おおはらびょういんの、かんごしになりたい。」



手塚 まり
「ようちえんのせんせいになりたい。」



金子みすき
「おおはらびょういんのおいしゃさんになりたい。」



野々上いぶき
「やさゆうのせんしゅになりたい。」



河野 りこ
「かしゅになって、こしもとダンススになりたい。」



白旗じゅき
「サッカーせんしゅになりたい。」



河野 みら
「ゆうゆうハウスの、かんごしになりたい。」

4月からみんなはかっこいい1年生ですね。みんなで過ごした仲間たち、ぜんぶ大切なからものですね。もっと大きくなって、もっと強くなって、幼稚園に遊びに来てください。